

# 学区内探検・伊吹山と霊仙山

米原市には日本の百名山の伊吹山と二百名山の霊仙山があります。

日本武尊伝説で有名な標高1377mの伊吹山は滋賀県と岐阜県の県境にあり、伊吹山地の南端にあります。日本海側気候の影響で、1927年2月14日に1182cmという世界最深積雪を記録しました。河南学区からは見える場所は限定的ですが、彦根方面からトンネルを抜けたあと米原ジャンクション付近で突如出現する姿は圧巻です。また、残念ながら河南学区は通っていませんが、新幹線からの姿も素晴らしいです。

河南学区において代表的な山は霊山三蔵や役行者などの山岳信仰が栄えた霊仙山です。一般的には霊仙と呼ぶことが多く伊吹山と同じく山頂には石灰岩の地形で伊吹より手付かずで自然のまま残されており、カレンフェルトやドリーネなどのカルスト地形が広がり、遠方から見る大きな壁のような姿は雄大です。河南中学校の校歌には米原市では珍しく伊吹山ではなく霊仙が歌詞に出てきます。標高は1094mで鈴鹿山脈の北端に位置し、南は多賀町東は岐阜県上石津や関ヶ原まで広がっています。

日本で唯一の三蔵法師で最澄、空海とともに仏教の第一人者として主に中国で活躍した霊仙三蔵の生誕地の近くにあります。奈良時代に山頂に建てられた霊仙寺で修行したという話も残っていますが、今ではその跡地も定かではありません。

